

令和5年度 事業報告書

一般社団法人南房総市シルバー人材センター

1. 概 況

我が国の構造的な問題である少子高齢化の進展を背景として、将来にわたり労働力人口の減少が見込まれる中、高年齢者のなお一層の活躍が期待されています。一方、高年齢者の雇用就労ニーズの多様化等、社会環境が変化する中で、経済等地域社会の活力を維持していくためには、高年齢者が自ら培った知識や経験を活かし、地域社会の多様な就労をとおり、健康で生きがいを持って生活が送れるよう、なお、一層の環境整備が必要となっています。

こうした中、当シルバー人材センターでは、国の施策の方向性等を的確に把握しつつ、公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会とも十分な連携を図りながらシルバー事業の推進に努めてまいりました。

シルバー人材センターの就業をめぐることは、法令遵守が求められていることを踏まえ「安全で適正な就業」と「誠実で丁寧な仕事」を心がけ、事業を推進してきましたが、令和5年度末の会員数は172名で前年度末より1名減でした。また受託事業の契約額では対前年度比6.9%、

2,389,475円の増となっています。

年間受注件数	目標	1,550 件	実績	1,776 件
年間契約金額				
請負	目標	33,700 千円	実績	36,811,883 円
派遣	目標	40 千円	実績	1,570,761 円
年間就業延日人員	目標	6,200 人	実績	6,885 人
年度末会員数	目標	180 人	実績	172 人

以上のような状況となっています。

以下、令和5年度事業について実績を報告します。

2. 事業活動基本方針について

法令遵守が求められていることを踏まえ「安全で適正な就業」と「誠実で丁寧な仕事」を心がけることに努めました。また、ホームページへの掲載・地元新聞への掲載など就業機会の拡大に努めました。

3. 事業内容について

(1) 普及啓発活動の促進

センターホームページ、地元新聞への掲載等によるPR活動に努めました。また、ハローワークでの相談会を館山市と南房総市シルバー合同により実施し、新規会員の加入効果があった。

(2) 安全就業意識の徹底

県の安全・適正就業委員研修会に本部職員1名がオンライン研修に参加し、意識向上に努めました。また、支部ごとに毎月、安全就業パトロールを実施し安全就業に努めました。

(3) 就業機会の開拓と拡充

契約額等については概況で記述しましたが、高齢化の著しい当地域にあって、女性会員の増強に努めてきましたが、大変難しい状況でした。

公共事業の契約率を上げるため、市への要望を行い12%程度100万円の増額となり、企業等では、新規開拓があり16%、93万円の増額となりました、家庭からの受注では、2.2%、43万円の増額となりました。合計で236万円程の増額となりました。

また、県シ連主催による高齢者活躍人材確保育成事業の一環として安房地域（館山市・鴨川市・南房総市）のシルバー人材センターによる会員募集チラシを活用しPRを行いました。

派遣事業は、現在3社で7名の派遣会員が就業しており、新規契約で140万円程度の増額となりました。今後も新たな就業拡大に努めていきます。

(4) 適正就業の推進

シルバー人材センター事業の基本であります「臨時的・短期的・軽易」な作業についての法令に基づいた適正就業に努めてきました。今後とも法令遵守により適正就業に努めていきます。

(5) 就業率の向上

令和5年度の実就業率は62.8%で低率となっており、この要因は、未就業会員のニーズと受注内容のミスマッチが原因の一つと思われる。

また、就業機会の開拓と合わせて未就業会員の解消を組織的に取り組んでいく必要があります。

(6) 会員組織の強化と充実

自主・自立・共働・共助の精神のもと会員相互の連携は重要であるという認識のもと、会員相互の協力体制の強化に努めました。また、シルバー人材センター運営等の安定化に向けた組織等を見直す中、令和5年度に経営改善計画を策定しました。この計画の管理項目を着実に進め、令和7年3月末までに改善するように努めます。